

第2学年 外国語科学習指導案

日時 令和3年12月17日(金) 5校時

指導者 JTE 杉本 まゆみ

ALT Rudy Pavlov

場所 小講堂

1 単元名

Unit 7 Amazing Australia (Here We Go! ENGLISH COURSE 2)

2 単元について

○教材観

本単元ではオーストラリアの自然や文化、スポーツなどを題材にし、ブラウン先生がクイズ形式でオーストラリアについて紹介している。教科書におけるゴールは、オーストラリアについての観光紹介の記事から特色などを読み取ることができること、また自分の町の名所や名物などを伝える紹介文を書くことができることに設定されている。新出言語材料としては、形容詞や副詞の比較級・最上級、同等比較が扱われていて、クイズを通して、物の大きさや人気などについて予測しながら比較表現を使う流れになっている。オーストラリアについての具体的な情報を交えながら、新たな発見とともに、興味・関心を持てるようにしていきたい。

単元のゴールとして、自分たちの町の観光名所を動画として発信するために、教科書にある多様な表現を用いながら、自分がおすすめしたい場所の名所や名物などについて、ペアでやり取りをし、自分の考えを話す言語活動を行う。そして、それを動画撮影という形で発表につなげていく。やり取りを通して、おすすめしたい場所の理由付けをしたり、自分たちの意見を交換し合ったりすることによって、より海外の人に訪れたいと思ってもらえるような紹介動画を作れるようにしたい。また、教科書の中でオーストラリアの自然やスポーツなどについて紹介する言い方がいくつかあるが、自分たちの町について置き換えて話す時に使えるように意識づけを行っていく。その際、自分たちも動画を作成するに当たって参考にできる部分はないか、どのような工夫がされているかといった部分にも着目させて、教科書をたくさん活用し、生かしていくことについても意識を向けていきたい。

○生徒観

本学級の生徒は男子14名、女子18名の計32名のクラスである。英語の授業に関して、間違いを恐れず発言したり、わからないことは聞いて自分なりに表現してみようとしたりする意欲のある生徒が多い。

英語教育改善プラン推進事業のアンケートでは、「英語の勉強は好きか」に対して肯定的な答えは53%、「英語の勉強は大切だと思うか」については、87%という結果だった。大切だと思う生徒の割合が大きい一方で、英語の勉強が好きだと答えた生徒との間に開きがあった。また、「授業では即興で自分の考えや気持ちなどを伝えあう活動が行われていると思うか」に対しては、72%の生徒が肯定的な答えをしていた。本学級の生徒は、これまで毎回の授業の帯活動でスマールトークに取り組んできている。回を重ねる毎に、答えや相手に反応するまでの時間が短くなり、やり取りの量も少しずつではあるが増えてきた。一方で、話の内容についての深まりの部分に関しては、定型の返しに落ち着いてしまい、即興で自分から疑問文を投げかけて答えを得ようとするところまでにはなかなか至らない現状もある。

○指導観

本単元ではオーストラリアの国や自然を、魅力的に驚きを持って紹介するために、クイズの中で比較表現が工夫されて使われている。そして、オーストラリアについて様々な知識を広げながら、日本とオーストラリアとを比較したり、自分の町について情報発信したりすることを目指している。その

ため、自分たちも町の紹介動画を作成するというゴールに向かって、やり取りを重ねながら町の魅力を発信できるよう、問いかけや言い換えなどの工夫点を教科書の中に見出させるようにしていく。本時の授業では、自分たちの町の観光名所を動画として発信するために、教科書にある多様な表現を用いながら、自分がおすすめしたい場所の名所や名物などについて、ペアでやり取りをし、自分の考えを、次時の動画作成という形で発表する。

指導にあたっては、クイズや紹介文を繰り返し音読したり、内容について英語での問答によって理解を深めたりしながら、教科書に出てくる表現やわかりやすい伝え方などについて、自分たちのものにできるように支援をしていく。その際、教科書の穴埋めを行いながら繰り返し音読したり、自分たちの町に置き換えるとどのようなことが言えるか考えさせたりして、教科書に凝らされた様々な工夫に気づかせ、多様な表現を自分で活用できるように指導をしていく。その中で自分たちの動画作成にも生かしていき、毎回の授業で段階を踏んで積み重ねをしていけるように授業を仕組んでいきたい。

3 領域別の学年ごとの目標及び評価規準

(1) 目標

- ・ 日常的な話題について、事実や自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりして、会話を継続させることができる。「話すこと [やり取り]」
- ・ 日常的な話題について、事実や自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や文を用いて、まとまりのある内容を話すことができる。「話すこと [発表]」

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>話すこと [やり取り]</p> <p><知識></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 <p><技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合う技能を身に付けている。 	<p>話すこと [やり取り]</p> <p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題について、事実や自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。</p>	<p>話すこと [やり取り]</p> <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて伝え合おうとしている。</p>
<p>話すこと [発表]</p> <p><知識></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 <p><技能></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。 	<p>話すこと [発表]</p> <p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題について、事実や自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話している。</p>	<p>話すこと [発表]</p> <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて話そうとしている。</p>

4 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

自分たちの町の観光名所を動画として発信するために、教科書にある多様な表現を用いながら、自分がおすすめしたい場所の名所や名物などについて、ペアでやり取りをし、自分の考えを話すことができる。

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>話すこと [やり取り]</p> <p><知識></p> <ul style="list-style-type: none"> 比較を使った表現の特徴やきまりを理解している。 <p><技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の町について、事実や自分の考え、気持ちなどを、比較の表現などを用いて伝え合う技能を身につけている。 	<p>話すこと [やり取り]</p> <p>自分たちの町の観光名所を動画として発信するために、教科書にある多様な表現を用いながら、自分がおすすめしたい河口湖の名所や名物などについて、やり取りをしている。</p>	<p>話すこと [やり取り]</p> <p>自分たちの町の観光名所を動画として発信するために、教科書にある多様な表現を用いながら、自分がおすすめしたい河口湖の名所や名物などについて、やり取りをしている。</p>
<p>話すこと [発表]</p> <p><知識></p> <ul style="list-style-type: none"> 比較を使った表現の特徴やきまりを理解している。 <p><技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の町について、事実や自分の考え、気持ちなどを、比較の表現などを用いて伝え合う技能を身につけている。 	<p>話すこと [発表]</p> <p>自分たちの町の観光名所を動画として発信するために、教科書にある多様な表現を用いながら、自分がおすすめしたい河口湖の名所や名物などについて、自分の考えを話している。</p>	<p>話すこと [発表]</p> <p>自分たちの町の観光名所を動画として発信するために、教科書にある多様な表現を用いながら、自分がおすすめしたい河口湖の名所や名物などについて、自分の考えを話している。</p>

便宜上、以下のように示す。

ア：「話すこと [やり取り]」知識・技能 イ：「話すこと [やり取り]」思考・判断・表現

ウ：「話すこと [やり取り]」主体的に学習に取り組む態度

エ：「話すこと [発表]」知識・技能 オ：「話すこと [発表]」思考・判断・表現

カ：「話すこと [やり取り]」主体的に学習に取り組む態度

5 単元の指導と評価の計画 (全 10 時間)

時間	目標 (◆) 主な言語活動 (○)	評価			
		知	思	態	◎評価規準 (評価方法)
1 扉	<p>◆ストーリーの内容を予測し、本文を通して聞いておおまかな内容をつかむことができる。</p> <p>○Small talk</p> <p>What do you know about Australia?</p> <p>Do you want to visit Australia?</p> <p>○タイトルや写真などからストーリーの話題を予測する。</p> <p>○ストーリーを通して聞いて、おおまかな内容をつかむ。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
2 Part1	<p>◆形容詞の比較級や最上級の用法について知り、それらを使って話したり書いたりすることができる。</p> <p>○Small talk</p> <p>Which country do you want to visit?</p> <p>○導入を聞いて、比較表現に共通する言い方について気づく。</p> <p>○比較には対象があることを理解し、自分の身の回りの物事について話したり書いたりして表現する。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
3 Part2	<p>◆more, most を使う比較級や最上級の用法について知り、それらを使って話したり書いたりすることができる。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録

	<p>○Small talk Make a quiz using comparatives.</p> <p>○導入を聞いて、more や most を使って表現する言い方について知り、自分の興味にそってジャンルの近い2つや3つ以上のものについて話したり書いたりする。</p> <p>Which is more interesting, math or science? —Math is more interesting for me.</p> <p>Who is more famous, A or B? —I think A is more famous than B. など</p>				に残す評価は行わない。
4 Part3	<p>◆as～as…の用法について知り、これを使って話したり書いたりすることができる。</p> <p>○Small Talk Which is more interesting, English or math? And why?</p> <p>○これまでの授業の話題から、同等表現を使って、自分で話したり書いたりして表現する。</p> <p>○錯視の絵を見て同じであることを表現する。</p>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
5 Part1	<p>◆オーストラリアの紹介の文を通して、日本と比べてどうか理解を深めたり、河口湖に置きかえたらどんな風に表現できるか確かめたりすることができる。</p> <p>○Small Talk Which restaurant do you recommend? And why?</p> <p>○何度も教科書の本文を聞いたり読んだりしてワークシートのミッションを解きながら理解を深める。</p> <p>○教科書の穴埋めをしながら何度も音読する。</p> <p>○富士五湖に関する会話を聞いてそれぞれの湖を比較した情報を聞き取る。</p> <p>What is Kawaguchiko famous for? Is lake Kawaguchi bigger than lake Yamanaka? Which place do you recommend to see Mt. Fuji?</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>紹介に応用可能な表現 I want to tell you about… It's famous for… Where is…? Do you know? … is the ~est in / …is ~ er than</p> </div>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
6 Part2	<p>◆オーストラリアの人気のスポーツについてのクイズのやり取りを読み、内容を理解したり、河口湖に置きかえたらどんな風に表現できるか確かめたりすることができる。</p> <p>○Small Talk Which place do you recommend to see Mt, Fuji?</p> <p>○何度も教科書の本文を聞いたり読んだりして、ワークシートのミッションを解きながら理解を深める。</p> <p>○教科書の穴埋めをしながら何度も音読する。</p> <p>○会話から登場人物が見たいテレビ番組を聞き取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>紹介に応用可能な表現 Which is more … for you, () or ()? What is the most ~ thing in …?</p> </div>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

7 Part3	<p>◆オーストラリアの自然についてのクイズのやり取りを読んで、内容を理解したり、河口湖に置きかえたらどんな風に表現できるか確かめたりすることができる。</p> <p>○Small Talk What manga do you recommend? ○何度も教科書の本文を聞いたり読んだりしてワークシートのミッションを解きながら理解を深める。 ○教科書の穴埋めをしながら何度も音読する。 ○買い物の場面を聞いて特徴や何を買ったかについて聞き取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>紹介に応用可能な表現 …has some amazing nature. It's as ~ as … It's a sacred site for …</p> </div>				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。
8 Goal	<p>◆グレートバリアリーフを紹介した記事を読んで、その特色などを読み取ったり、河口湖に置きかえたらどんな風に表現できるか確かめたりすることができる。</p> <p>○Small Talk What movie do you recommend? ○グレートバリアリーフを紹介した文を読んで、理解を深めるとともに自分たちの町の紹介についても参考にできる箇所を探す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>紹介に応用可能な表現 Do you know about ~? It's like ~ Through these activities, tourists can enjoy ~ I think it's the most ~ When you come to ~, you should try …</p> </div> <p>What activity can you enjoy in Kawaguchiko? What should tourist try when they come to Kawaguchiko?</p>	や			上記4－(2) 単元の評価規準 ア
9 本時	<p>◆自分たちの町の観光名所を動画として発信するために、教科書にある多様な表現を用いながら、自分がおすすしたい場所の名所や名物などについて、ペアでやり取りをし、自分の考えを話すことができる。</p> <p>○Small Talk Which do you want to visit, Uluru or Great Barrier Reef? And why? ○教科書に出てくる既習の言い方等を参考にしながら、自分の町のおすすめの名所や名物について、やり取りをして、動画内容を考える。</p>	や	や	や	上記4－(2) 単元の評価規準 アイウ
10	<p>◆自分たちの町の観光名所を紹介する動画をつくることができる。</p> <p>○誰に対する紹介動画なのかを想起し、情報を加除修正する。</p> <p>○これまでやり取りをしてきたことをもとに、1人1台端末に、自分たちの町の観光名所紹介動画を録画する。</p>	発	発	発	上記4－(2) 単元の評価規準 エオカ
	パフォーマンステスト (※)	や	や	や	次項ループリック参照

(※) パフォーマンステストについて

◎パフォーマンステストの内容

休みの日に河口湖駅で観光案内所のボランティアに参加することになりました。観光案内所を訪れた外国人に対して相手の条件や状況を聞きながら、おすすめの場所を紹介して下さい。

◎パフォーマンステストにおけるルーブリック（評価基準）

条件1 相手から条件や状況を聞き、それに対応するような案内ができています。

条件2 自分のおすすめする場所について理由も含めて伝えている。

条件3 相手の考えや好みを聞いたり、話題を広げたりしながら対話を継続している。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	誤りのない正しい英文で話すことができる。	自分の考えを理由と共に述べたりしながら3つの条件を満たしたやり取りをしている。	自分の考えを理由と共に述べたりしながら3つの条件を満たしたやり取りをしようとしている。
b	誤りが一部あるがコミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	自分の考えを理由と共に述べたりしながら2つの条件を満たしたやり取りをしている。	自分の考えを理由と共に述べたりしながら2つの条件を満たしたやり取りをしようとしている。
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

◎パフォーマンステストにおける具体的な姿（bの評価）

（S：students A：ALT）

S：Hello. How can I help you?

A：I'd like to look around here.

S：Where are you from?

A：I'm from Nepal.

S：Nepal? Are you with your family? [条件1]

A：Yes. I have two young children.

S：Then, how about going to Kachikachiyama?

I think it's most interesting to take a rope way there. [条件2]

A：That sounds great. Thank you.

S：You're welcome. Have a good day!

パフォーマンステストにおける具体的な姿（aの評価）

S：Hello. How can I help you?

A：I'd like to look around here.

S：Where are you from?

A：I'm from Nepal.

S：Nepal? Are you with your family? [条件1]

A：Yes. I have two young children.

S：Which do you prefer, going to the 5th station of Mt. Fuji or enjoying the view?

What do you think? [条件3]

A：I'd like to see the view.

S：Then, how about going to Kachikachiyama? Kachikachiyama is the most popular place among children. It's fun to take a rope way and [条件2]

A：That sounds great. Thank you.

S：You're welcome. Have a good day!

6 本時の学習

(1) 日時 令和3年12月17日(金) 5校時

(2) 場所 小講堂

(3) 目標 自分たちの町の観光名所を動画として発信するために、教科書にある多様な表現を用いながら、自分がおすすめしたい場所の名所や名物などについて、ペアでやり取りをし、自分の考えを話すことができる

(4) 展開

時間	生徒の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準<評価方法>
1分	○【Greeting】 ・あいさつをする。	・あいさつをする。	
10分	○【Small Talk】 ・ペアで1分間話す。 テーマ Which do you want to visit, Uluru or Great Barrier Reef? And why? 想定されるやり取り S1: Which do you want to visit Uluru or Great Barrier Reef? S2: I want to visit Great Barrier Reef because I want to try snorkeling. How about you? S1: Me, too. I want to see a sea turtle. S2: That's nice.	・ Uluru, Great Barrier Reef の写真を提示 (Please tell me about Uluru and Great Barrier Reef.) ・これまで生徒と学習してきた Useful Phrases をホワイトボードに貼る。 例: 驚いた時 Wow. / That's good. 続きを聞きたい時 And then / What else? Tell me more. など	あいづちを打ったり反応したりしながら会話できているか。
	S1: She / He wants to visit Great Barrier Reef because he likes sea animals.	・ Sharing をする What did you and your partner say? Do you have anything that you couldn't say in English?	
15分	○Today's Goal の提示 自分たちの町の観光名所を動画として発信するために、教科書にある多様な表現を用いながら、自分がおすすめしたい場所の名所や名物などについて、ペアでやり取りをし、自分の考えを話そう。		
	○【Activity1】 ・河口湖を訪れようと思っている外国人観光客の目的を想定してペアでやり取りする。 条件・目的 自然が好きな外国人 自然好きの外国人に、どんな場所をおすすめするか、またその理由(何ができるかなど)について、やり取りする。	・動画の最初の部分を提示する。動画の続きを作成させる。 ・どんな外国人が訪れるか。 ・どのようにたずねればよいか。(最初の質問) Which place do you recommend?	◎自分たちの町の観光名所を動画として発信するために、教科書にある多様な表現を用いながら、自分がおすすめしたい場所の名所や名物などについて、ペアでやり取りをし、自分の考えを伝え合っているか。(合おうとしているか。) <行動観察・振り返りシート>

	<p>・ 1 回目のやり取りをする。 S1 : Which place do you recommend? S2 : I recommend Lake Kawaguchi. S1 : Why? S2 : I like fishing. How about you? S1 : I recommend Bat Cave, S2 : Why? S1 : It's fun.</p>		
<p>中間指導について</p> <p>内容面 小学校の富士山学習や宿泊学習での体験を思い出してみよう。 デモンストレーションで良かったところはなにか? そこでは何ができるか?</p> <p>言語面 どのようにたずねたか? どんな言い方ができるか?</p> <p>ALT と JTE によるデモンストレーション A : Which place do you recommend (to foreign tourists)? J : I recommend Aokihara Jukai. A : Why? J : We can join a walking tour of Aokigahara Jukai. <u>Do you know?</u> A : No, I don't. What can we do? J : We can actually walk in the woods with a guide. A : Sounds exciting. <u>Tell me more.</u> J : <u>Aokihara Jukai is as large as 640 Tokyo Domes.</u> A : Wow! It's very large. J : <u>It has some amazing nature. Through this activity, we can enjoy fresh air.</u></p>			
	<p>・ 2 回目のやり取りをする。</p>	<p>・ よかったところをほめる。</p>	
<p>20 分</p>	<p>○ 【Activity2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 富士河口湖町のパンフレットを参考に して、外国人観光客に紹介したい 場所や内容について伝え合う。 ・ ①～③のカードを引いて、その人た ちに向けてのおすすめの場所や内容 について考える ① For elderly people ② For family with children ③ For solo tourist ・ 1 回目のやり取りをする。 S1 : Which festival do you recommend? S2 : I recommend a firework festival. We can enjoy fireworks and shopping. S1 : What kind of shop? S2 : Food, drinks, and games and so on. S1 : Sounds fun. 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な人が動画を見るため、 その人たちに向けておすす めの場所や内容を考えさせ る。 ・ 施設、イベント、祭り、食べ 物、季節などについて、生徒 に内容を選択させて、やり取 りさせる。 ・ ALT と最初の質問を練習さ せる。 Which (What) event / festival / food / season do you recommend? 	<p>◎自分たちの町の観光名 所を動画として発信す るために、教科書にあ る多様な表現を用いな がら、自分がおすす めしたい場所の名所や名 物などについて、ペア でやり取りをし、自分 の考えを伝え合ってい るか。(合おうとしてい るか。) (行動観察・振り返り シート)</p>

	<p style="text-align: center;">中間指導について</p> <p>内容面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳しくたずねるためにどんな質問をすればよいか。 ・動画での紹介の形に近づける工夫をしよう。 <p>言語面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業の中から集めたアイデアシートから使える表現はあるか。 ・「言いたかったけど言えなかった」ことはあるか。 <p>その他／教科書利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書で学習した表現から紹介できそうな表現などやはあるか。 <p>as ~ as : Hoto is as popular as Udon. the second biggest ~ : Lake Kawaguchi is the second biggest lake of Fuji Five lakes. the most famous ~ : Mt. Fuji is the most famous mountain in Japan.</p> <p style="text-align: right;">など</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2回目のやり取りをする。 <p>S1 : What food do you recommend? S2 : I recommend hoto. It's the most popular food in Kawaguchiko. There are many hoto restaurants.</p> <p>S1 : What event do you recommend for elderly people? S2 : I recommend Herb festival. You can see beautiful lavender.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ よかったところをほめる。 ・ 次回の動画撮影にふれる。(教科書の使用) <p>例 I want to tell you about my hometown. Our town has some amazing nature. If you like nature, I recommend bat cave. You can go inside of the cave. It's the most exciting. When you come to Fujiawaguchiko, you should go to bat cave.</p>
3分	○【振り返り】 ・ 振り返りシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の Goal についての振り返りをふりかえりシートにさせる。
1分	○【Greeting】 ・ あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつをする。

(5) 評価基準

評価及び指導の例

「十分満足できる」状況 (a)	自分たちの町の観光名所を動画として発信するために、教科書にある多様な表現を用いて、相手の条件や状況を考えながら自分がおすすめしたい場所の名所や名物などについて、やり取りをし、自分の考えを伝え合っている。
「おおむね満足できる」状況 (b)	自分たちの町の観光名所を動画として発信するために、教科書にある多様な表現を用いながら、自分がおすすめしたい場所の名所や名物などについて、ペアでやり取りをし、自分の考えを伝え合っている。
「努力を要する」状況 (c) と評価した生徒に対する指導の手だて	自分たちの町の観光名所を動画として発信するために、教科書にある多様な表現を用いながら、自分がおすすめしたい場所の名所や名物などについて、ペアでやり取りをし、自分の考えを伝え合っていない。(bに満たない) →改善点について振り返りシートに記入したり、個別支援を行ったりする。

7 その他の添付資料

紹介動画アイデアメモ

※富士河口湖町の紹介に使えるような表現をメモしておこうφ(..)

2-() ()

	教科書のフレーズ	富士河口湖町だところ
P1		
P2		
P3		
GOAL		